

科目名	経済情報分析 Economic Analysis						
科目担当者	宮永 雅行 MIYANAGA Masayuki						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>我々は経済社会の中に生きている。どうあらがっても経済変化の影響から逃れることはできないし、その変化からプラスあるいはマイナスの金銭的な影響も受けたりする。</p> <p>したがって我々の今後の人生においては経済の動きが把握できる知識をもち、経済予測について自らの見識を持てるようになることが重要だと思われる。私は良い経営を行うためには経営学だけではなく、経済の仕組みや景気についての理解も必要であると考えている。</p> <p>この講義では毎回、日本経済新聞等の記事や、主要国のマーケット動向について解説し皆さんの経済知識を深めることに努めていく。</p> <p>また金利と景気、金利と物価、金利と為替等の関係について学習し、日本銀行の金融政策やそのメカニズムなどについても十分理解できるようにする。その際、金融機関在籍中に体験した多くの経済変化をできるだけ具体的に説明することで学生の理解を深めていきたい。</p>						
授業の到達目標	<p>① 短期金融市場や長期金融市場の学習を通じて金利・為替・株価等の知識を深める。</p> <p>② 新聞の経済欄を読んでもその内容が理解できるレベルに高める。</p> <p>③ 金利など経済指標の変化を通じて将来の景気がイメージできるなど、マーケット感覚を高める。</p>						
授業計画・内容	1	直近の経済動向を解説(1)※日本や世界の動向で金利や為替、インフレ率等がどのように変化しているか					
	2	直近の経済動向を解説(2)※前週の続き					
	3	直近の経済動向を解説(3) ※前週の続き					
	4	GDP と経済成長率					
	5	GDP の季節調整					
	6	短期金融市場(1)インターバンク市場とは何か					
	7	短期金融市場(2)オープン市場とは何か					
	8	お金の需要と供給 (ケインズの流動性選好論など)					
	9	日銀の金融政策 (買いオペレーションと売りオペレーション)					
	10	長期金融市場 (株式市場と債券市場)					
	11	外国為替市場(1)インターバンク市場と対顧客市場					
	12	外国為替市場(2)TTM・TTS・TTB と為替変化の変動要因					
	13	金利と為替の関係					
	14	景気と金利の関係					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	毎回、Moodle に事前に掲載した次回授業内容の PDF を熟読し、自分なりにノートにまとめてみる。(毎週 2 時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容について要点を整理し、不明な個所を調べておく。(毎週 2 時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	定期試験 2 回の課題の提出					70% 30%	①②③ ①②③
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	資料						
参考文献							
その他	※この科目は、金融機関での勤務経験を有する教員が実務経験を踏まえて新聞記事、主要国マーケット動向について解説を行います。						